

NEWS RELEASE

2018 年 6 月 5 日
キャノン IT ソリューションズ株式会社

「全銀協標準通信プロトコル (TCP/IP 手順・広域 IP 網)」に対応した 「EDI-Master シリーズ」の新製品を販売開始 ～ EDI のセキュアなインターネット化を実現 ～

キャノンマーケティングジャパングループのキャノン IT ソリューションズ株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：足立正親、以下キャノン ITS）は、「全銀協標準通信プロトコル (TCP/IP 手順・広域 IP 網)」に対応した「EDI-Master シリーズ」の新製品、「EDI-Master B2B for BANK TCP/IP-Client Ver.9」および「EDI-Master B2B TLS-Accelerator」を 2018 年 6 月より発売します。

NTT 東日本と NTT 西日本が発表した、公衆交換電話網の IP 網移行 (PSTN マイグレーション) による 2024 年の INS ネットデジタル通信モード提供終了にともない、電話回線を使った従来型の企業間電子商取引 (EDI) を利用している企業は、インターネット EDI への移行が必要となります。これを受け、一般社団法人全国銀行協会（全銀協）は、「全銀手順」や「全銀 TCP/IP 手順」などの電話回線を使った従来型に替わる通信手順として、インターネット対応の新たな通信手順「全銀協標準通信プロトコル (TCP/IP 手順・広域 IP 網)」を 2017 年 5 月に制定しました。

「EDI-Master シリーズ」は、キャノン ITS が開発・販売を行う EDI ソフトウェア製品群で、さまざまな通信プロトコルやプラットフォームに対応しています。キャノン ITS は、インターネット対応の新たな通信手順である「全銀協標準通信プロトコル (TCP/IP 手順・広域 IP 網)」に対応した新製品、「EDI-Master B2B for BANK TCP/IP-Client Ver.9」および「EDI-Master B2B TLS-Accelerator」の提供を開始します。

「EDI-Master B2B for BANK TCP/IP-Client」は、多数の導入実績がある全銀 TCP/IP 手順のクライアント製品で、従来の電話回線を使った「全銀 TCP/IP 手順」に加え、今回のバージョンアップにより「全銀協標準通信プロトコル (TCP/IP 手順・広域 IP 網)」に対応しました。

「EDI-Master B2B TLS-Accelerator」は、TCP 通信を暗号化できる中継サーバーとして機能する製品で、既存の全銀 TCP/IP 手順システムとの組み合わせで「全銀協標準通信プロトコル (TCP/IP 手順・広域 IP 網)」に対応可能です。また、既存 EDI システムと同一筐体・別筐体いずれの構成にも柔軟に対応できるため、既存システムへの改修を最小限にとどめながら暗号化によるセキュアなインターネット EDI への移行が可能となります。「EDI-Master B2B Gateway」「EDI-Master DEX シリーズ」「全銀 TCP 通信プログラム」との連携により、インターネット EDI へのスムーズな移行を支援します。

キャノン ITS は、製造業、金融業、小売・流通業、サービス業などさまざまな業界、業務における「EDI-Master シリーズ」の導入実績があり、通信パッケージ販売のみならず、システム構築から導入・運用支援にいたるまで EDI システム全般をサポートしています。キャノン ITS は「EDI-Master シリーズ」を中核とする EDI ソリューション事業で、2022 年までに年間売上高 25 億円を目指します。

- 報道関係者のお問い合わせ先 : 企画本部 事業推進部 コミュニケーション推進課 03-6701-3603
- 一般の方のお問い合わせ先 : EDI ソリューション本部 第一営業部 03-6701-3457 (直通)
- EDI-Master ホームページ : <https://www.canon-its.co.jp/solution/edi/>

製品名	標準価格（税別）	発売日
EDI-Master B2B for BANK TCP/IP-Client Ver.9	78,000 円	2018 年 6 月 29 日
EDI-Master B2B TLS-Accelerator	Windows 版：200,000 円～ Linux 版：600,000 円～	2018 年 6 月 5 日

<「EDI-Master B2B for BANK TCP/IP-Client」について>

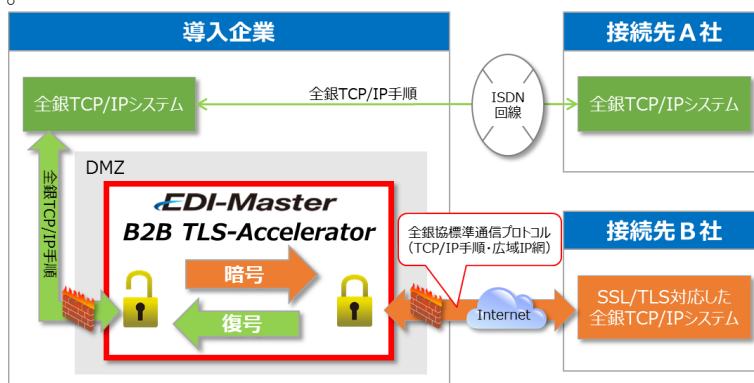
「EDI-Master B2B for BANK TCP/IP-Client」（旧製品名：NTS-100-BANK TCP/IP 版）は 1997 年の発売開始以来、ファームバンキングや企業間ファイル転送システム、収納代行サービスとして多数の導入実績がある全銀 TCP/IP 手順対応ソフトウェアです。クライアント機能に特化し、使用性・操作性を重視しつつ他システムとの連携も可能で、組み込み用途としても利用できます。新バージョンでは SSL/TLS 暗号機能の搭載によりインターネットでの利用も可能となります。

<「EDI-Master B2B TLS-Accelerator」の特長>

1. 既存 EDI システムの変更を最小限に抑えてインターネット EDI 対応を実現

「EDI-Master B2B TLS-Accelerator」を既存の全銀 TCP/IP 手順システムのフロントに配備することで、これまで運用している全銀 TCP/IP 手順システムを変更せずに、SSL/TLS 暗号機能を追加します。これにより、盗聴・改ざん・なりすましなどのセキュリティ脅威を防止し、インターネット EDI をセキュアに利用することができます。

ハードウェアでは実現が難しいクライアント側通信の暗号化にも対応しているため、サーバー側・クライアント側を問わず導入できます。既存 EDI システムと同一筐体・別筐体いずれの構成でも対応可能です。



2. 堅牢でセキュアなシステム構築が可能

Linux（Red Hat Enterprise Linux）対応、仮想環境対応、冗長構成対応など、障害発生時にも『止まらないシステム』を構築することができます。また、「EDI-Master B2B TLS-Accelerator」を DMZ 上に配置することで、接続先システムと社内 LAN システムとの直接接続を防ぐことができ、セキュリティ上も安心です。

3. ブラウザベースで簡単な運用管理

LAN 接続されていれば、遠隔地でもブラウザを使って運用に必要な操作をすることが可能です。中継設定や、通信ログ閲覧、証明書の管理など運用に必要な機能を提供します。

4. さまざまな TCP/IP 通信の SSL/TLS 化が可能

全銀 TCP/IP 手順だけでなく、HTTP やメールプロトコル（POP3・SMTP・IMAP4）などの SSL/TLS 化されていない TCP/IP ベースの通信手順を、SSL/TLS 暗号化することも可能です。これにより、外部メールサーバーへの TLS 接続や、簡易的なリバースプロキシ用途^{※1}など、さまざまな用途に利用できます。

※1： URL 変更や HTTP ヘッダ書き換えなどの HTTP レイヤ制御はできません。